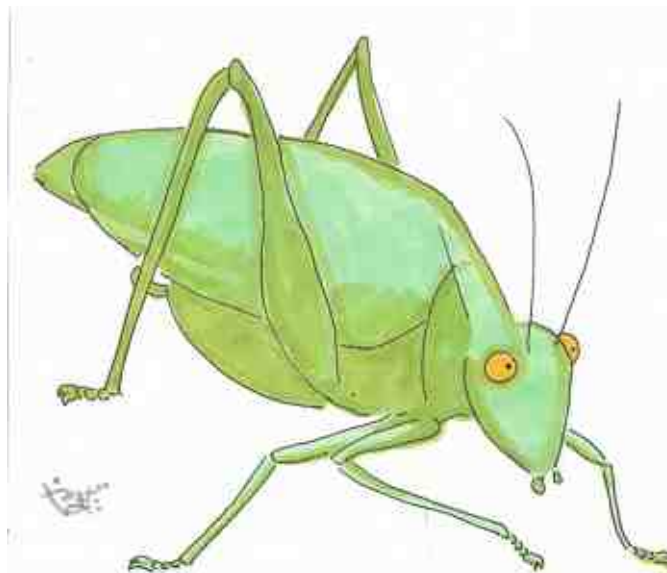




私が子どもだった頃 大道町内会 会長 小泉 隆良

私が子ども時代を過ごした今から50年以上も前の大道は、山に囲まれ、侍従川が流れ、海も近くにあつて、子どもたちの遊ぶところがたくさんありました。今の大道小学校が建っているところは、昔は田んぼでカエルがたくさん住んでいました。夏になると、セミがたくさんいて、うるさいくらい鳴いていました。朝寝坊していると友だちにセミとり用のクモの巣を取られてしまうので誰よりも早く起きて取りに行きました。針金で丸くしたものにクモの巣を巻きつけてそれでセミを取るのです。クモの巣は、べとべととしているので一度かかるとセミは逃げられません。夏休みは、みんなで勉強すると言って出かけるのですが、すぐに遊びたくなって、親には勉強は終わったと言って野島や乙臚海岸に海水浴に行ってしまうこともよくありました。

その頃の遊びは、ベイごま、ビー玉、めんこ、缶けり、騎馬戦、さし網、パチンコなどでした。ベイごまは、学校では禁止されていましたが、人気のある遊びでした。パチンコは二股になった木にゴムを



山田 陽治

サトクダマキモドキ (里管巻擬)

学名 *Holochlora japonica*

体長：雄25ミリ、雌40ミリ

和名の“クダマキ”はクツワムシの別名を指し、直訳すると「クツワムシに似たもの」となる。

8月中旬から10月下旬まで見られ、雄はグルル...と低い声で鳴くが、なかなか聞き取りにくい。

メスは鎌状の産卵管を使い木の幹に卵を産みつける。

解説：熊井 健

取り付けて作ります。チームに別れて戦争ごっこをやるのです。私は、小学4年の頃、パチンコで左目の上を負傷して失明寸前になってしまいました。かなり危ない遊びをやっていましたね。さし網というのは、地面に穴を3つか4つ掘って、そこに遠くからボールを転がして点数を競うというものです。ボールが逃げないように網を張ったことからさし網と呼んでいたのだと思います。

侍従川ではウナギやハゼなど、色々な魚を獲りました。川のそばを掘って水がたまる場所を作るとそこに魚が入ります。その中にカーバイトを放り込んで火をつけると魚が苦しんで水面にあがって来るので、それを捕まえるのです。当時の侍従川には、ホタルが沢山いました。夜、ホタルを捕りに行くのですが、注意が必要でした。ホタルの光の中にヘビの目玉が混じっているからです。下手に手を出すとヘビに指を噛まれるので木の棒で確かめながらホタルを捕った覚えがあります。

冬は、集会所の近くで凧上げをやって半日過ごしました。その頃は、集会所の回りは一面の田んぼで凧上げをするには格好の場所でした。大道小学校のトンボ池の裏側あたりに、大きな栗の木がありました。それに登って栗を取っていると、栗の木の持ち主のおじさんが出て来て、見つかるかと怒られるので、3時間もトイレを我慢して木の上にいる苦い経験もあります。家にいると、外で遊んでこい、と言われるので家の中で遊ぶことはありませんでした。外でめいっぱい遊んで、家に帰るのはいつも夕刻でした。こんな調子で、あまり勉強はしないで就職するまで、毎日楽しく過ごしました。まわりの友だちも同じように遊びまわっていました。

3歳の頃ですが、太平洋戦争で米国の戦闘機が飛来したときに、親に背負われて防空壕へ逃げ込みました。その時に、両手に持っていた、おにぎりを落としてしまったということを、今でも覚えていてます。それほど、食料が大切な時代でした。今は、戦争もなく平和で食べ物もたくさんあって、私の子ども時代に比べたらずいぶん良い時代になりました。その分、塾や学校の勉強がたいへんだと思いますが、子どもたちには、自然が豊かな大道で元気に遊んでもらいたいと思います。



昭和三十年代の大道1丁目付近
前方に見えるのが山王神社の鳥居
建っているのは県営住宅（廣瀬氏提供）

会員の集い

【活動報告その1】

6月13日(土) 17:00~18:30

於：大道小コミュニティハウス

記) 成島みゆき

コミュニティハウス研修室で行われました。まず定期総会として、昨年度の活動報告と予算報告がされ、今年度の活動計画案と予算案が承認されました。続いてプロジェクターで写真を映しながら、川下り大会や学生部の活動の報告を行いました。

総会終了後は、大道中学校のホタル観察会にむかいました。



ホタル観察会

【活動報告その2】

6月13日(土) 14(日) 19:00~20:30

於：大道中学校

記) 竹内秀弥

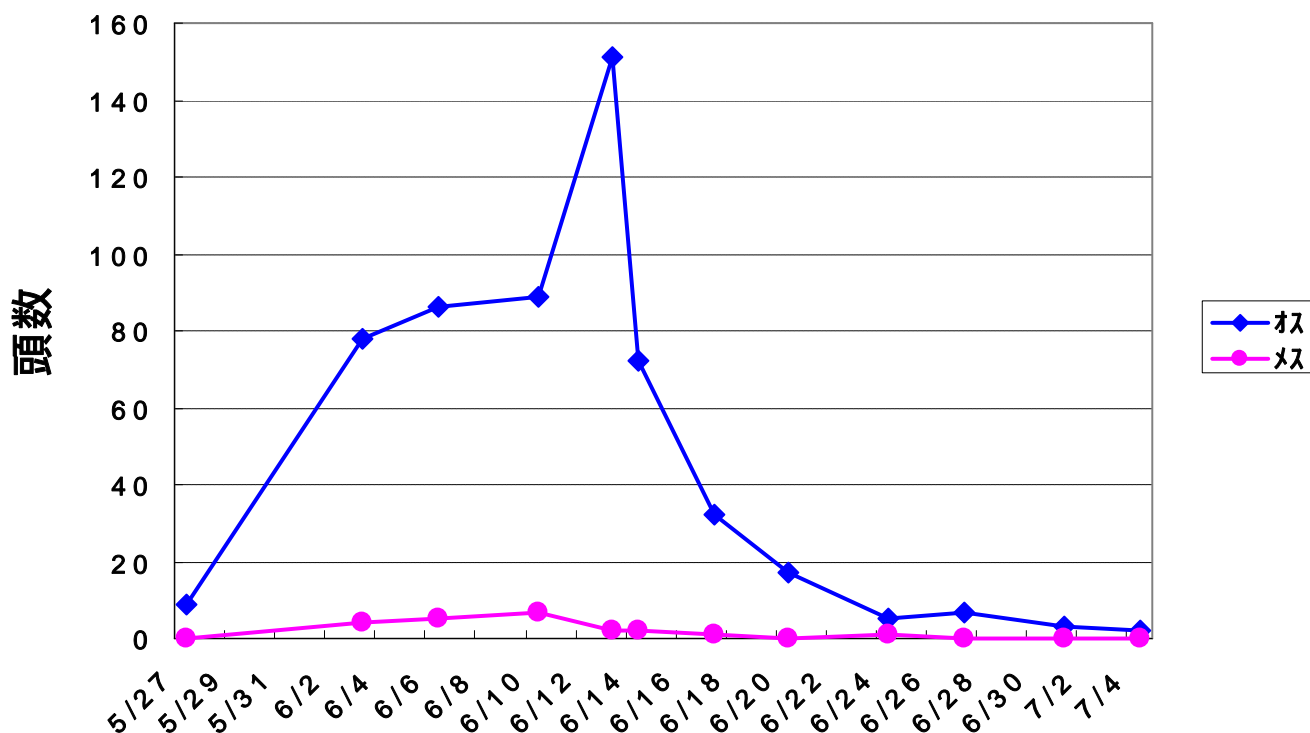
今年は大当たり！！ 6月の2週目はホタルのピーク。

初日である13日は、243名が参加、負けずにホタルも153頭が飛び、大道溪谷を明るく照らしていました。ピークを向かえ参加して下さったかたから『あなたがたがいるから見る事が出来る、ありがとう』と、おほめの言葉をいただきました。

14日は、128名が参加、ホタルは半減しましたが、参加者からの感動の声がたくさん届きました。



2009ゲンジボタル調査結果 by学生部



6月クリーンアップ

【活動報告その3】

6月28日(日) 9:00~10:40

於：大道東橋～ブックオフの上流

記) 細川一雄

参加者：村田章夫、角田繁、西澤博厚、八木場紀元、長橋輝明、山田陽治、梅本隆史、梅本拓実、梅本ほのか、島村真依、米塚友里、細川一雄(計12名)

ホタルとハグロトンボの生育期のため、大道橋から大道東橋の区間は、なるべく草を残すため、水辺の草刈りは行わず、護岸側の陸地の草刈りとゴミ拾いを中心に実施しました。

大道橋から上流のブックオフに向かっては、先月草刈りを行っているのでゴミ拾いを中心に行い、途中外来種の背高泡立ち草などを根から引き抜く作業を行いました。最後の加倉橋のたもとでアルミサッシの小窓枠(ガラスがついたまま)と窓フェンス(1.8m)を回収しました。



この会報は、会のホームページ(http://www.sora-iro.net/hirose/furusato_jijyu/)から見るすることができます。

侍従川大調査会&ハグロトンボ調査

7月11日(土) 9:00~15:00

【活動報告その4】
記)山田陽治

参加者：飯村優介、梅本隆史、梅本拓実、梅本ほのか、金野光流、井上孝介、鈴木政裕、古寺航揮、山岸航、安達大介、柴田龍、柴田華、尾池実、上村優果、深沢大地、山田陽治

7/11(土)侍従川大調査を行いました。さらに、横浜市ハグロトンボ一斉調査もあわせて行い、侍従川でのハグロトンボの生息数も調査しました。

主な調査地点は大道東橋～青木製作所の中流域で、午後は源流の一つである大道中学校を調査しました。大道中学校の流れでは、絶滅危惧I B類に指定されているホトケドジョウも見られました。

ハグロトンボですが、一度は横浜市の河川では絶滅したのですが、今年は146匹も見られました。途中、我々には事前連絡のない、業者による草刈りがあったものの、侍従川の豊かさを再認識した一日でした。



7月クリーンアップ

7月26日(日) 9:00~10:50

於：ちとせ園～三信住宅入り口

【活動報告その5】

記)細川一雄

参加者：相川澄夫、伊藤清志(初参加)、角田繁、八木場紀元、西澤博厚、西川寛三、廣瀬隆夫、河本充雄、金子英司、細川一雄(計10名)

梅雨明け後も雨が降り続けている中、偶然の晴れ間と強風の中作業を開始。大道橋から上流に向かってゴミ拾い作業と外来植物を見つけては根から引き抜く作業を実施。上流域の川底に砂のある場所には沢山のチチブがいました。壊れた傘2本と太い鉄の杭1本等2袋分のゴミを回収。

また、ちとせ園から大道橋の間は、生き物が残れるように草の間引き作業を実施し、5袋分のゴミを回収して作業を終了しました。今回の作業で、青木製作所の橋のところにタバコの吸い殻が多い点とブックオフの自転車置き場の下にビニール袋と紙ごみが多いのが気になりました。



私は、7月29日～31日に岐阜市少年自然の家で行われた「世界子ども水フォーラム・フォローアップ in 岐阜 2009」に参加しました。水フォーラムとは、水に関する活動等をしている子どもたちが集まり、お互いの活動について議論し、考え、発表する機会を提供して頂くことにより、活動の更なる発展と子どもたちのネットワークを広めていくことを目的として開催されているものです。日本全国から41人の人が参加しました。



主な内容はお互いの活動について話し合い・発表・自然共生センターの見学でした。(長良川での体験活動も予定されていましたが、雨で中止になってしまいました...)

私は、「安全な川での体験活動」というテーマで話し合いと発表をやりました。話し合いでは、様々な意見を聞くことが出来ました。私たちが話し合った事を少し紹介します。

安全な川で体験するには、川の事を知らないといけないという意見が多く出ました。川の事を知らない人たちが川に入ると、危険な場所がわからないから危ないのです。しかし、私たちの身近では、入ることのできる川は少なくなっています。と言うことは川について知る機会が減ってきているということを意味します。そこで、解決方法の1つとして、川を知るために体験活動などをし、川についての理解を深めてもらったらどうかという意見が出ました。



幸いにも、侍従会では実行されていることだと思います。他に、レスキュー訓練を定期的に行うといい。という意見なども出ました。

話し合いの他で楽しかったことは、全国の人たちと交流が出来たことです。新しい友だちも出来ました。今も、自分たちの活動などについてメールをしたりしています。

今回の水フォーラムに参加して、とても充実した時間が過ごせたと思います。また侍従会だけではなく、全国に仲間が出来てとても良かったです。これからも、連絡をとって様々なことを学びたいと思いました。



学生部夏期合宿

【活動報告その7】

8月4日(火) 5日(水) 於: 愛川ふれあいの村

記) 島村真依

8月4日・5日に愛川ふれあいの村で学生部の合宿が行われました。

今年の内容は、レスキュー訓練と川流れ体験でした。場所は昨年同様、中津川で行いました。

レスキュー訓練では、「川で溺れてしまったらどうするか」「川で溺れている人を見かけたらどうするか」という事を学びました。川で活動している私たちは、レスキュー訓練などをし、正しい知識をもつ事も大切だと思うので、このような体験が出来て良かったです。川遊びでは生き物を探したり、シュノーケルをしたり、飛び込みをやったりとそれぞれが有意義な時間を過ごすことが出来たと思います。私は、飛び込みが特に楽しかったです。最初は少し怖かったけど、実際にやってみて、飛んでから入水するまでの風を感じる時が気持ちいいと思いました。

今回の合宿では初めて会う人もいたけど、みんなと仲良くなれたので良かったです。だから、これからの侍従会の活動も積極的に参加し仲間を増やしていきたいです。また飛び込みなど普段の活動ではなかなか体験できないことも体験できたので良かったです。

次の合宿も参加したいです。



いかだづくり&侍従川 川下り大会

8月8日(土) 9日(日)

【活動報告その8】
記) 山田隆代



今年もお天気に恵まれ、75名の参加がありました。親子で、兄弟で、友達とetc.、それぞれのグループではいかだに個性的な絵を描いていました。

いかだは普通、去年までのものを修理しますが、一から作る方も！

うまく浮きますように！

作成中。
仕上がり
が楽しみ

Tさんのいかだは
職場の廃材を利用
しました



みごとな芸術
作品です！



川下り講習会を開きました。
持ち物、熱中症にかかりそうな
ときの対処法、落ちたときの救助
のされ方など。とてもためになり
ました。講師は、裸の大将、いえ
山田陽治さんです。



出発の合図を待つ
いかだたち



やや曇り空の中、スタッフは8時から葦船をトラックで運びます。Sさんのクレーン操作が光ります。その後時間を気にしながら、いかだ15艇を待従川へ下ろしていきます。川の中でいかだを受け取るのはTさん、Yさん。ずぶぬれです。

8時45分、乗組員(参加者)集合。受付後、ライフジャケットを身に付けます。



葦船の
“小栗判官”



救助艇のK先生。安全パトロールを行います。

長野待従会副会長の合図で一斉に出発。野島めざしてLet's go!



雪見橋で、飲み物を差し入れてくださった日産自動車さん、ありがとう!

1位で到着!! 去年はビリだったのに良かったなあ

ガンバレの声かけが嬉しかった

今年も、ソーメン隊のお母さんたちが、おいしいソーメンを作ってくださいました。ごちそうさまでした!



来年も、いかだ下りができますように。

子どもたちの感想、一挙公開！（自分の感想がどこにあるか探してね！）

思った以上に大変でした。でも来年またやりたいです！（米塚 友理） 去年ビリだったので一位になれてよかったです（柴田 龍） 楽しかった～ 来年も出たいな～（柴田 銀土） 来年は優勝できるように頑張ります（柴田 華） とっても疲れしました。へとへとでした。でも、普通は出来ない事だからとってもええ 経験になりました。昨日から腕・顔が痛い。日焼けで。でもとっても楽しかったです。ありがとうございました。（小野寺 未夏） 沢山漕いで楽しかった。友達ができて嬉しかった。（尾池 実） ありがとうございました。すごく楽しかったです。来年も是非、参加したいです。（森 麻里永） 今日はありがとうございました。とっても楽しかったです。初めて参加したにも関わらず、皆さん親切にしてくださってありがとうございました。とても嬉しかったです。また機会があったら参加したいと思っていますので、その時はまた宜しくお願いします。今日は本当にお世話になりました。（服部 杏） 思ったよりもきつかったけど、無事にゴール出来たし、とても楽しかったので良かったです。来年もぜひ参加したいと思います。（島村 真依） 水の抵抗が凄くて大変だったけど、楽しかった。来年も参加するぞー!!!（島村 拓弥） 楽しかったよ -) 日焼けしてヒリヒリするッ) (樋口 瞳) 去年の川下りは、1番ぶりになってしまったので、今年こそスピードの速いいかだで1番を狙うのが目標でした！目標が達成できて嬉しかったです。（白石 匠） いつも見ている風景と違って、おもしろかった。川の水は思ったよりも冷たかった。川の中にたくさんのゴミが落ちていてびっくりした。川をよごしたらいけないなあ、と思った。浅い所では、いっしょうけんめいこいでも、全然進まなくて大変だった。でも頑張ってこいで進んでくれると、風は気持ちよく、とても楽しかった。来年も参加したいなあ。と思った。（野口 優衣） こいでもなかなか進まなかった時、いかだがひっくり返ってなかなかいかだに上がれず大変だった。メガネをはずしてよかったですと思った。とちゅう、ワカメだらけの所でワカメがいろんなものにまとわりつき、こんがらがって大変だった。さいごにいかだを持ち上げるところがつかった。大変だったけど、すごく楽しかった。（野口 美緒）

ソーメン隊のお母さんたちの感想

今も大変お世話になり有難うございました。沢山の子どもたちが良い顔をしていましたね けがも無く、良かったです。山田さんや協力者の皆様に感謝です。（森 泰世） 本当にありがとうございました。楽しかったです。（古寺 久美子） 楽しくお手伝いのできたので全然苦にはなりませんでした。今日はホント皆さんが疲れながらも楽しそうにイカダから降り、そしておいしそうに食べてくれたので私もとても嬉しく思いました。（井上 早苗）



遅刻常連の 田さんのせいで急遽集合場所を変更し、途中でカブトムシやクワガタなどがいるかどうか道草をし、吉野家でお腹を満足させたところで、ようやく北野研究室へ…
(編集部注：東海大学北野研究室は、佐野君の所属する研究室です。)

家族が生き物好きなので多少の事では驚かない私ですが、研究室に入ってびっくり!!
(最近生き物さんたちにご無沙汰しているからかもしれません)私にとっては初めて見る生き物たちばかり。

研究室の学生さんたちや北野先生に説明をしていただけ、そのあとは気になる生き物を観察したり、また質問したりと各自自由に過ごしました。しばらくして研究のためのエサのおたまじゃくしを獲りに車で里山へ。蚊に刺されながら大量のおたまじゃくしをゲットし、北野先生に駅まで送っていただいております。

研究室では「湖にしかいなくなってしまったので調査中」という貴重な魚が何種類かいて、説明を聞いていて、人間のせいで住処を追われてしまったというパターンが多いのが気になりました。

大学がどういうものか、というのも少しわかって高1の私には刺激になりましたが、それよりも生き物たちの未来の方が気になりました。

研究で少しでも生き物たちが救われるように頑張ってください!!!



ジュニアキャンプ in 野島

8月15日(土) 16日(日)

【活動報告その10】
記) 小野寺りさ

8月15日～16日の2日間に渡り、Jr野島キャンプを開催しました。

天気に恵まれ暑さも厳しく無く快適な2日間でした。

初日は11時に集合して、まずは他者紹介をしてテント張り...意外と大変だったものと簡単にできるものも有って、子どもも大人も一緒になって張りました。

お昼は、持参の弁当だったり、コンビニ弁当だったり、パン屋さんでパンと様々でした。

少し休憩をして『さぁ～海へ!!』 みんなでライフジャケットを着て、シュノーケルを持って浮かんで海の生き物を観察する子、紐に餌を付けてカニ釣りをする子、様々に楽しんだ後は夕食作り。米とぎをする班、火起こしする班、肉焼き班、野菜切り班に別れ、手際良く子どもたちで考えて作り上げた『肉丼』は、とても美味しく、ごはんの硬さもお焦げも美味でした。

片付けの後は、みんなで銭湯へ。誰も気がついていないみたいですが...男子風呂には、入れ墨のおじさんが居たみたいで...男子の汚くした、床を黙って桶でバシャバシャ流していたそうです。お叱りが無くて良かったですね(編集部注:過去に風呂の栓を抜いたことがあります...汗)

風呂上がりには、牛乳やコーヒー牛乳を飲み、帰る途中のコンビニでアイスを買って貰いました。公園から八景島の花火をみんなで鑑賞して、キャンプ場へ戻り、今度は自分たちで花火をしました(廣瀬さんが持ってきてくれました)。花火の後は、みんなが待ちに待った『肝試し』。3人組に成り、神社まで行って戻る単純な事なのに、子どもたちは大はしゃぎでした。その後は、子どもたちの就寝時間だが...誰も寝ようとは、しない。しばらくして、子どもたちが静かに(一部の子たちを除いて)で、大人タイム!

この頃になってきたら、かなり冷え込み『さみ～!』



各自パラパラとテントに1人、2人と消え、気がつけば、泊まる気のなかった私は帰れずじまいになり、その上に寝るテントも無く、仕方無しに娘たちが寝て居たテントに潜り込んで寝ました。



朝は、眠くって、朝からパワーアップしている子どもたちをみて『子どもは元気だなあ～』って思いました。

朝のサンドイッチバイキングは、ハム・チーズ・トマト・レタス・茹で卵・スクランブルエッグ・ツナマヨとバリエーションが有り、各自好きな物を好きなだけはさむ。朝食後は、またまた『海だあ！』アサリ穫りをしていた子どもたちもいました。



海から戻った頃に流しうどん（伊藤先生がセッティング）、鳥肉&ネギの温かい汁が、また美味でした。子どもたちは流しうどんの流しに強烈に喜んでいました。食べ終わったら、昨夜出来なかった、焼きマッシュマロを焼いて食べて、テントをしまい、無事怪我人も出なかった事に感謝をして各自が家路につきました。



きっと、どこの家庭も夜は、爆睡だったと思います。お疲れ様でした。

8月クリーンアップ

【活動報告その11】

8月23日(日) 9:00~11:30

於：第二山王橋～三信住宅入り口

記)細川 一雄

参加者：八木場紀元、西澤博厚、伊藤憲生、河本充雄、山田陽治、梅本隆史、梅本拓実、尾池実、柴田龍、柴田銀士、柴田華、細川一雄(12名)

川の中に沢山の藻が発生している真夏の猛暑の中、作業を開始。ジュニア5名はちとせ園～大道橋間のゴミ拾いから開始。他の大人は大道橋から上流に向かいゴミ拾いと草刈作業を実施。しかし折からの猛暑に少人数では殆ど作業が進まず、途中全員に飲み物を配布し休憩を取りながら行いました。ゴミ拾いは三信住宅入り口まで到達できましたが、草刈り(間引き)は途中で作業を終了。次月に行う事にしました。

子どもたちは、川の中で泥んこになり藻をぶつけ合ったりしてはしゃぎ廻っていました。



ヤンマとり大会

【活動報告その12】

8月23日(日) 16:30~日没

於：瀬上市民の森

記)佐野真吾

ヤンマとり大会も今年で3年目になりました。毎年このイベントでは、マルタンヤンマというトンボの雄を捕まえることを目的としています。マルタンヤンマの雄は体や複眼の色が青く大変美しいヤンマです。しかも夏の夕方、暗くなりかけた谷戸を時速70キロ近い猛スピードで飛ぶことから、捕まえるのは至難です。去年のヤンマとり大会では、網を構えて並んだ子どもたちが次々と空振りさせられ捕えることはできませんでした。というわけで、今年はマルタンヤンマの雄を捕まえることはできるのでしょうか!?

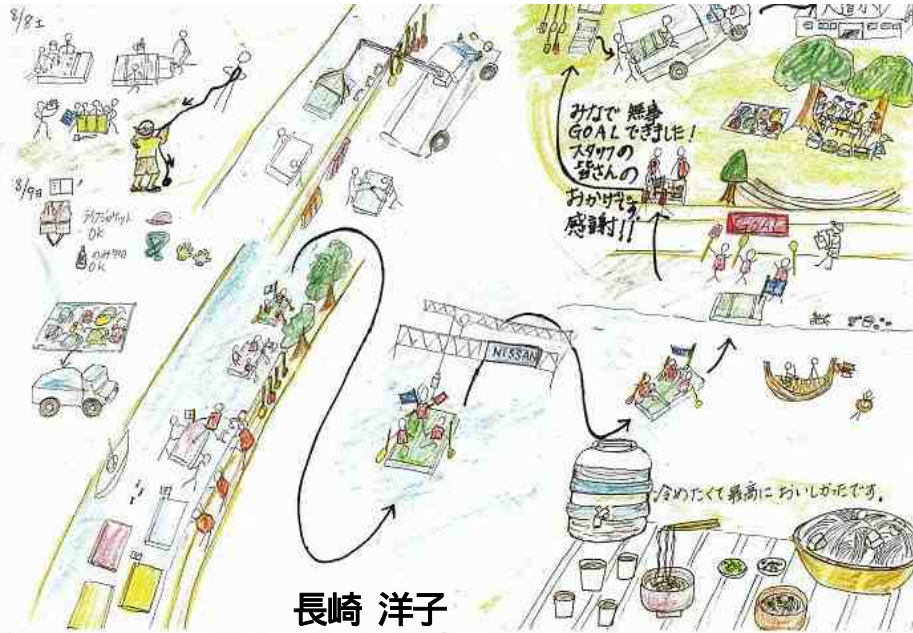


8月23日、横浜市栄区瀬上市民の森、今年は31人もの人が集まりました。16時半から森に入り、小川の上を飛んでいるコシボソヤンマを採りながら毎年ヤンマを狙う広場に向かいました。たいていこの時期のヤンマは17時過ぎ頃から飛び始めます。しかし、この日は天候や湿度が良くなかったのか、ヤンマはほとんど姿を見せず、しかたなく田んぼやピオトープに移動してヤンマを待つことにしました。

そして18時半を過ぎ、皆があきらめかけた頃、突然田んぼの上を無数のヤンマが飛び始めました。そして、無数のヤンマたちは私たちの背の高さくらいまでおりてきて猛スピードで飛びまわります。シルエットや翅の色などからマルタンヤンマ・ヤブヤンマ・コシボソヤンマであることが分かりますが、辺りの暗さとヤンマの飛ぶスピードで皆次々と空振りしました。メンバーの一人、成島さんが1頭のヤンマを捕えました。「マルタン? マルタン入った?」皆成島さんの所に駆け寄ります。しかし、網から出してみるとコシボソヤンマでした。それから約15分もしないうちに視界が確認できないほどに暗くなり、ヤンマたちもいなくなってしまうました。こうして今年もマルタンヤンマの雄は採れずに終わりました。



《侍従会ギャラリー》



長崎 洋子



長崎 光則



白石 匠

柴田 龍



森 麻理永

奈央のいかだ日記
村田 奈央



オケラ
梅本拓実



カネタタキ
深沢大地

トピックス

5 / 3 1(日) パタゴニア・ベイサイド・アウトレットにてワークショップが開かれ、NPO 海辺づくり研究会、瀬上ホテル基金ともに侍従会も侍従川の生き物を出展。

6 / 1(月) 六浦小3年生に、山田(陽)が侍従川のお話を写真を見せながら行う。

6 / 3(水) 六浦小3年生が侍従川でフィールド学習。佐野が対応。

6 / 4(木) 大道小との協同提案である「上総堀りによる井戸づくり」が横浜市まちづくり事業の一次審査を通過。

7 / 3(金) おはすた(テレビ東京)で、大道小の取り組みが紹介される。

7 / 1 2(日) ボーイスカウト第24団ビーバー隊が侍従川で活動。山田(陽)が講師。

7 / 1 8(土) 六浦小夏のふれあいタイムで侍従川に親子で魚捕りや川遊びが行われた。岬(大道小アシスタントティーチャー) 佐野が対応。

7 / 2 5(土) 「生き物体験博物館」(東京ガス環境エネルギー館)で、竹内が生き物を出展。

7 / 2 6(日) 「全国トンボ市民サミット横浜大会」が本牧市民公園で行われ、竹内が生き物を出展。成島、島村、米塚が参加。



8 / 2(日) 夏休み野外教室が雨天中止。

8 / 1(土)~ 8 / 7(金) 「トンボはどこまでとぶかフォーラム」トンボマーキング調査に島村、米塚、山田(陽)が参加。

8 / 1 9(水) 大道小はまっこふれあいスクールが侍従川探検。竹内、山田(陽)が対応。60cm以上のシロマダラの死体を発見。

8 / 2 7(木) 金沢区・磯子区・西区合同 理科研究会の臨地研が侍従川で行われ、50人もの小学校の先生が川で魚捕りを行いました。佐野、山田(陽)が対応。

9 / 3(木) 大道小全校生徒による侍従川清掃が行われ、相川会長と山田(陽)が参加しました。

行事詳細や中止のお知らせなどのスムーズな伝達のために、メーリングリストに登録してください。登録については山田(陽)まで yohji-y@ezweb.ne.jp

虫のきょういく座談会 ~ 忍者の修業道! ? ~

「今年は秋の森探険をやろう！」言い出したのは山田氏だった。

佐野：なんで秋に森探険なんですか？春と冬に年2回も企画してるじゃないですか？

山田：四季を通してやろうよ！！秋は今までやったことないし！

森探険シリーズも始めてからかれこれ4年が経つ。しかし山田氏の言う通り、四季を通して企画したことはなかった。

佐野：夏はやらなくてよかったんですか？まゝ夏は他のイベントも多くて忙しいか...

山田：夏は暑いから森歩くのキツイ！（笑）

佐野：そんな理由っすか！（笑）

山田：いやあ（笑）実は今年は9月にイベント何もなくなっちゃって...（笑）

なるほどそういう理由か...。佐野は納得した。侍従会のイベントのいくつかは、このように突発的な思い付きから企画される。

佐野：じゃあ今回の森探険はいつもと違うコースにしましょうよ 忍者の修業道使いましょう

山田：そんな道あんの! ?

佐野：いやいや！（笑）山田さんが昔「忍者の修業道」って案内してくれたじゃないですか！！（笑）



成島 みゆき

「忍者の修業道」とは、山田氏が幼少の頃、忍者になるべく修業をしたという、朝比奈の森から鎌倉市側にある三郎の滝まで一気に抜けられる秘密の道である。かつて佐野も忍者の修業(?)で山田氏に紹介されたことがあった。

山田：ああ！あの道ね！懐かしいなあ～

佐野：あの道はクワガタもいっぱいいたじゃないですか！朽木割ったらポロポロ出てきたの覚えてますか？ サバイバルでクワガタも採れて子どもたち喜びますよ

山田：そうだのお～

ただあの道まだあるかなあ～。藪になって埋まっちゃったかもしんないよ。冬の森探検で行った方が入りやすい？

佐野：確かに！まあでも普段行けない道をイベントで行くっていうのもたまにはいいですよ

こうして森探検シリーズの企画は進んだ。忍者の修業道に関しては未定となったが、他にも朝比奈の森には知られざる場所や今は使われなくなった道の跡、抜け道などがたくさん存在する。そのうち是非みなさんにも紹介したいものだ。

(編集部注：秋の森探検は雨のため中止になりました...泣)

生き物調査報告

- 6 / 13 朝比奈町にてニホンアマガエルの新産地
発見！(学生部調査)
- 6 / 14 六浦町にてヒラタクワガタ(県判定：絶滅
危惧種 類)採集！(学生部、金野光流)
- 6 / 24 大道東橋付近にてアカテガニ採集！
侍従川初記録！(小野寺龍星)
- 8 / 4 愛川町中津川(学生部合宿)にてコオナガ
ミズスマシ(県判定：準絶滅危惧種)採集！
(学生部、金子英治)
- 8 / 27 大道小学校トンボ池にてキイトンボ
(県判定：絶滅危惧 B 類)採集！
(佐野真吾)
- 8 / 27 朝比奈町にてコオニヤンマ成虫採集。
侍従川初記録！(学生部調査)
- 9 / 7 朝比奈町にてタカネトンボ・リスアカネ
採集。両種侍従川初記録！
タカネトンボは横浜において近年記録なし
(佐野真吾)



侍従川生き物図鑑 No. 7



ヤマカガシ

撮影：熊井 健

(ナミヘビ科)

- ・体長：70～150センチ
- ・分布：侍従川中流から源流域

最近流域では数が減ってきた大型のヘビで、体が赤く、頭に黄色い模様があるのが特徴です。言わずと知れた毒ヘビで、刺激したり、掴んだりしない限り、襲って来ることはありませんが、咬まれたことによる死亡例もあるので触らないよう注意が必要です。近年毒を持つヘビは危険視され、見つけ次第駆除されることがありますが、ヘビも貴重な野生動物なのでむやみな駆除は避けてほしいものです。



ヤマカガシの幼蛇 10月



皮を広げて威嚇しているところ 11月

監修)熊井 健

佐野真吾が語る侍従会の思い出 ~タクマとケンカ~

2000年6月。6月といえばホタルの季節です。侍従会ではこの頃すでに学生部が夜集まって5月20日過ぎから7月初頭まで週2回、ホタル調査をしていました。この頃は侍従川流域におけるホタルの生息地を探して色々な支流に行ったものです。今は有名になった朝比奈小学校の生息地も当時は人が入れるような環境ではなく、山田さんを中心に学生部メンバーで藪をかき分け切り開きました。そしてこれらの調査報告は、6月中旬におこなわれる「侍従会の総会」で発表するのが毎年の流れでした。

6月中旬のとある土曜日、侍従会の総会がおこなわれました。私たち学生部は総会で1年間の調査報告とホタル調査の近況報告を終え、大道小学校トンボ池で遊んでいました。「これから大道中学校に行ってホタル観察会があるんだろ?」「うん、たぶん」トンボ池の淵にある丸太の上を危なかしく渡りながらタクマ(同級生)は答えました。「たぶんっておまえ毎年行ってんじゃ?...」「あああああ!!!」「!?」丸太を渡っていたタクマは叫びとともに案の定池に落ちたのです。しかも、信じられないことに隣にいた私を道ずれにして。2人とも池に落ちてビショリです。「あはははは 佐野くんゴメンあはははは」反省の色もなく無邪気に笑うタクマに私はムカッとききました。そしてタクマを蹴りまくりました。今思えばタクマに対して(人に対して?笑)いつも横暴でオレ様だった私は、このくらいのことで頭に血が登ってしまったのかもしれませんが。普段から私にやられているタクマでしたが、この時ばかりはさすがにヤバイと思ったのか、お互い気まずいムードになってしまいました。

それから大道中学校に移動してホタル観察会が始まりましたが、相変わらず2人は言葉を交わすことなく時間が過ぎていきます。その間、先輩たちはこの空気を察したようで、「佐野くんホタル一緒に見に行こうぜ!」と声をかけて気を使ってくれたり、「タクマお前が悪い!早く謝って来いよ!」というような声が聞こえてきたり、当時の学生部は本当に仲間意識が強く優しい先輩たちでした。しかし、先輩たちの願いもむなしくこの日は解散となってしまいました。



翌日、この日の1限目は体育で剣道の授業でした。そして、運悪くもタクマと同じグループになってしまったのです。お互い気まずいムードのまま、2人組で授業が始まりました。そして言葉を交わさざるえない状況になり、「ほれっ！おまえからやれ！」とぶっきら棒な態度をしてしまった私に、「さっ佐野くん、昨日は悪かった・・・」とタクマは言いました。私は恥ずかしくなり、竹刀でタクマを引叩くと、「これで許してやるよ・・・」と言い放ったことを今でも鮮明に覚えています。こうして2人はあっさり仲直りしました。

今だから話せる恥ずかしい思い出話です。それからずっと経った後にタクマはこう語りました。「あの時のことは忘れもしない。本当にヤバイと思った！完璧佐野くんを怒らせて嫌われたと思ったよ！笑。そんなことはありませんよ。仲間だと思っている友達だからこそ素直になれない時もありますよね。22歳になり、こうして思い出話を書きながらも、当時とたいして変わらない自分に恥ずかしくなります。

『佐野真吾が語る侍従会の思い出』 つづく



それゆけ

激突！山田くん

完全復活！？

～対 動物編～



「ニホンマムシ」の巻（続き）

必死の抵抗むなしく入院する羽目になった山田は、言われるがままに病室に連れられて行った。明日の授業は無理かぁ...いつまで入院するのだろう...5日後には宿泊体験学習の引率があるからそれまでに退院させてくれたらいいんだけど...そんなことを考えながら、付き添いの保健室の先生が買ってきてくれたスパゲティを食べながら外を見た。その時『脱走』の二文字が浮かんだが、看護師さんに怒られそうだからやめた...先ほど、「筋トレやっていますか？」と聞いたら怒られたし...

治療は、血清を打つのかと思ってたのだが、セファランチンという抗アレルギー薬を点滴投与することになった。マムシに咬まれてショックや吐き気、めまい、頭痛もなく比較的軽症だと思われたので、副作用などリスクの大きい抗毒素血清はやらないみたいだ。腎不全のおそれがあるとだけ告げられた。お水をたくさん飲むようにとも言われたので、水、スポーツドリンク、お茶を積極的に飲んだ。

マムシなどのクサリヘビ科の毒はタンパク質を融解・壊死させるので、毎朝尿検査をさせられた。やることといえば、それくらいしかないのに、基本ヒマな山田は、毎日知り合いに勝手に、マムシ咬症治療経過報告なるメールを勝手に何百人に送ったのであった...今日のおしっこの回数、食欲（はいつもあった）、点滴の種類、あと腫れの様子を写メで送った。

マムシに咬まれた状況をみんなに知らせる...最初はヒマつぶしだったのだが、それがだんだん自分の使命だと思えてきたのである（写メは教育委員会の研修でも使われている）さて、一日中ヒマかといえばそうでもなく、日中は見舞い客がたくさん来てくれた（ありがとうございました）。だんだん、受付でも有名になってきたみたいで、「あのぉ、〇〇〇号室の山田さんを...」と聞くと受付の人は「あ～！あのヘビに咬まれた人ね」とか。あるいは「ヘビに咬まれて...」と聞くと、すぐ「〇〇〇号室よ！」と返事が返ってくるらしかった(笑)

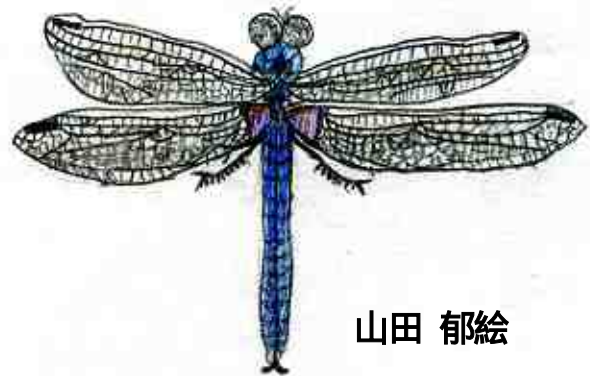
次号、いよいよVSマムシ編も終わりか！？

...つづく

侍従会トンボギャラリー



関 有加里



山田 郁絵



河本 智朗

侍従川定例調査報告 学生部

7月11日(土) 曇り

【長島橋～青木製作所前】(中流域・上流域) 9:45～11:30

気温: 29 水温: 22 pH: 7 塩分濃度: 0

生き物: カルガモ、ウキゴリ、スミウキゴリ、ピリンゴ、チチブ、ミゾレヌマエビ、アメンボ、シオカラトンボ、ハグロトンボ

備考: 横浜市ハグロトンボ一斉調査に併せて実施 ハグロトンボ 146 匹確認
ちとせ園～長島橋で業者による草刈りが行われた。

【大道中学校】(源流域) 14:20

気温: 26 水温: 20 pH: 7 塩分濃度: 0

生き物: ホトケドジョウ、メダカ、コクワガタ、イトトンボ sp、オオシオカラトンボ、オニヤンマ、マルタンヤンマ、アメンボ、ヒメアメンボ、コガタスズメバチ

8月27日(木) 晴れ

参加者: 佐野真吾、青木洋碧、鈴木優樹、山田陽治(計4名)

【朝比奈インター裏 幻の池】13:35

気温: 25.0 水温: 20.0 Ph: 8

生物: オニヤンマ(幼虫)、ヤブヤンマ(幼虫) クロスジギンヤンマ(幼虫)、
コシボソヤンマ(幼虫)、コオニヤンマ(成虫)、シオカラトンボ(成虫)、
オオシオカラトンボ(成虫)、リスアカネ(成虫) タカネトンボ(成虫)、
カゲロウ sp、ミズムシ、タマムシ 注) sp とは脱殻のこと

備考: 環境 杉林内にあり、アオキとシダ類が優先種。

【ちとせ園 周辺】15:45

生き物: コサギ、カルガモ、ヒバカリ、キバラガメ、メダカ、ウナギ、スミウキゴリ、
ウキゴリ、ピリンゴ、チチブ、ミゾレヌマエビ、テナガエビ、モクスガニ、
クロベンケイガニ、コシボソヤンマ(幼虫)、オニヤンマ(幼虫)、
シオカラトンボ(幼虫)、ハグロトンボ(成虫)、カワトンボ(幼虫)

備考: 金沢区・西区・磯子区合同の小学校教員による理科研究会の観察会も併せて実施。

事務局だより

事務局運営委員 長橋

9月～11月の活動予定

9 / 27(日) 定例クリーンアップ 9:00～12:00頃 ちとせ園集合

[持ち物] 川に入れる格好、タオル、軍手、飲み物、その他

10 / 11(日) はぜ釣り大会 9:00～15:00頃 大道小学校集合

[釣る場所] 高橋～汐見橋

[持ち物] 参加費(会員¥100 非会員¥200)、釣り道具(持ってる人)、
昼食、飲み物、タオル、箸、小皿orお椀、その他

10 / 25(日) 定例クリーンアップ 9:00～12:00頃 ちとせ園集合

11 / 22(日) 定例クリーンアップ 9:00～12:00頃 ちとせ園集合

定例クリーンアップは、雨天の場合、翌週日曜日に行います。

11 / 29(日) 火おこし&たき火料理 10:00～15:00頃

[集合] 10:00 野島青少年研修センター入り口

[持ち物] 参加費¥300(会員以外はプラス保険代¥100)、箸&器、飲み物、
おにぎり程度の軽食、軍手、何かたき火料理があれば準備してきてください。
バーベキューもやります。炉はNo.14です。

学生部の活動は、追って連絡します。

《会員の皆さんへのお願い》

・今年度の会費をまだ納入されていない方は、早めの納入をお願いいたします。

大人3,000円、学生部・ジュニア1,500円

郵便振替口座：00230-5-68634 ふるさと侍従川に親しむ会

編集後記

「子どもにも読ませたいので、《私が子どもだった頃》に ふりがな を入れてもらえませんか？」との要望にお答えして、ふりがなを入れてみました。秋の夜長、親子で読書というのもいいですね。(MK)

ふるさと侍従川に親しむ会 事務局

金沢区六浦5-23-26

長橋 輝明

TEL&FAX: 781-4042

e-mail: jr-nagahashi@seapple.icc.ne.jp